

## 旧上瀬谷通信施設

横浜市の北西部にあり、2015年に米軍から返還された首都圏最大級の平坦な土地で、面積は約242haです。東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接しており、交通アクセスの優位性があります。農業振興と都市的土地利用による新しいまちづくりを進めており、郊外部の活性化拠点として大きなポテンシャルを有しています。

■市域図



■周辺位置図



■航空写真 (平成27年時点)



みなとみらい21地区の約1.3倍の面積に相当

## 横浜国際花博の招致検討を進めています

# 皆様のご意見を募集します!

**募集期間** 平成29年12/20(水) から平成30年1/19(金)まで

旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の基本的な構想について、有識者委員会で審議を行い横浜市としての基本構想の素案をとりまとめましたので、皆様のご意見をお寄せください。

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催されています。

横浜には、花と緑やまちを支える市民力、企業・団体の活動があり、全国都市緑化よこはまフェアには600万人もの人々が訪れました。また、国際色豊かな開港都市として、世界中の方々をおもてなしするのにふさわしい舞台でもあります。

旧上瀬谷通信施設において、花と緑をシンボルとした国際園芸博覧会が開催されることで、基地跡地のまちづくりが進み、経済の活性化につながるとともに、横浜から世界に向けた未来への提案や友好と平和のメッセージの発信にもなります。

### ご意見をお寄せ下さい!

**募集期間** 平成29年12月20日(水)～平成30年1月19日(金)まで

旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)の本編は、下記の政策局政策課ホームページにてご覧いただけます。

**応募方法** 下記のいずれかの方法で提出して下さい。

- ①ハガキ:切手不要 1月19日(金) 当日消印有効 (左のハガキを切り取り、ご使用ください。)
- ②FAX:045-663-4613 政策局政策課あて
- ③電子メール: ss-engeihakuiken@city.yokohama.jp
- ④ホームページ投稿フォーム: (下記ホームページより、ご利用下さい。)



<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/engeihaku/shouchikentou.html>

- いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
- 電話でのご意見の受付及びご意見への個別回答はいたしませんので、あらかじめご了承下さい。
- ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。

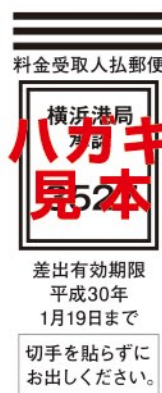
**お問い合わせ** 横浜市 政策局 政策課  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
TEL: 045-671-3125 FAX: 045-663-4613  
受付時間: 土日祝日を除く、午前8時45分～午後5時

郵便はがき

231-8790

017

横浜市中区港町1-1  
横浜市政策局政策課 行



よろしければ、あなたの情報をご記入ください。

- あなたのお住まい  
横浜市( )区・市外
- あなたの年齢  
20歳未満 20歳～39歳 40歳～59歳  
60歳～79歳 80歳以上
- あなたの性別  
男 女

### 横浜市が招致を検討している国際園芸博覧会

横浜市が目指している国際園芸博覧会は、国が開催主体となるもので、国内では、1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会(花の万博)」があり、世界から2,313万人が訪れました。



国際花と緑の博覧会 (出典:国際花と緑の博覧会公式記録)

横浜市



## 基本理念・開催意義

自然災害、異常気象、飢餓等、地球環境への対応は人類の共通目標であり、国連のSDGs(誰もが取り残されない社会の構築)等の取組が進められています。また、国内では少子高齢化や社会経済の動向に新たな視点で対応していく必要があります。

こうした課題に対応するためには、自然共生の知恵と仕組みの共有や新技術と産業領域の創出に向け、国際的な行動として展開していくことが必要で、この取組を日本の地域づくり・経済の活力につなげることが未来社会の重要な鍵になります。

横浜には、開港都市としての国際交流の歴史、373万人の市民力、多彩な企業・団体の活動、横浜らしいガーデンシティのまちづくり等、持続的な未来社会へ向けた展望があります。

## 横浜・上瀬谷で花・緑等をシンボルに、 自然共生の叡智を活かし、地球環境を展望した 未来志向の国際園芸博覧会(国際花博)の開催へ

- 首都圏でも貴重な広大・平坦地の旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、郊外部の活性化モデルとして圏域を振興
- 国際都市横浜の多様な魅力を世界に発信し、地域経済の活性化や都市ブランドのさらなる向上等をけん引
- 国内外との交流により、首都圏の観光MICEや観光立国、地方創生、次世代の産業創出等に大きく貢献

## 開催場所・開催期日等

開催場所	旧上瀬谷通信施設
開催期日	2026年4月～9月
会場規模	80～100haを想定
入場者規模	1,500万人以上を想定
開催組織	国が認定する法人等

## 宿泊・輸送計画

- 市内の宿泊滞在を中心に、国内観光と組合せ、首都圏・国内各地への波及を促進
- 道路や鉄道を活用し、多方面からのアクセスを確保
- 自家用車での来場者抑制や将来の土地利用計画との整合性を図ったアクセス道路等を検討・改善

## 開催経費

過去の博覧会を参考に、80～100haとした現時点での試算額

試算額	会場運営費320～360億円程度 会場建設費190～240億円程度
-----	--------------------------------------

- ※開催経費は、公民連携等により縮減を図ります。  
・会場運営費については、入場料等の収入によります。  
・会場建設費は、国、地方公共団体、民間の資金によります。

## メインテーマ

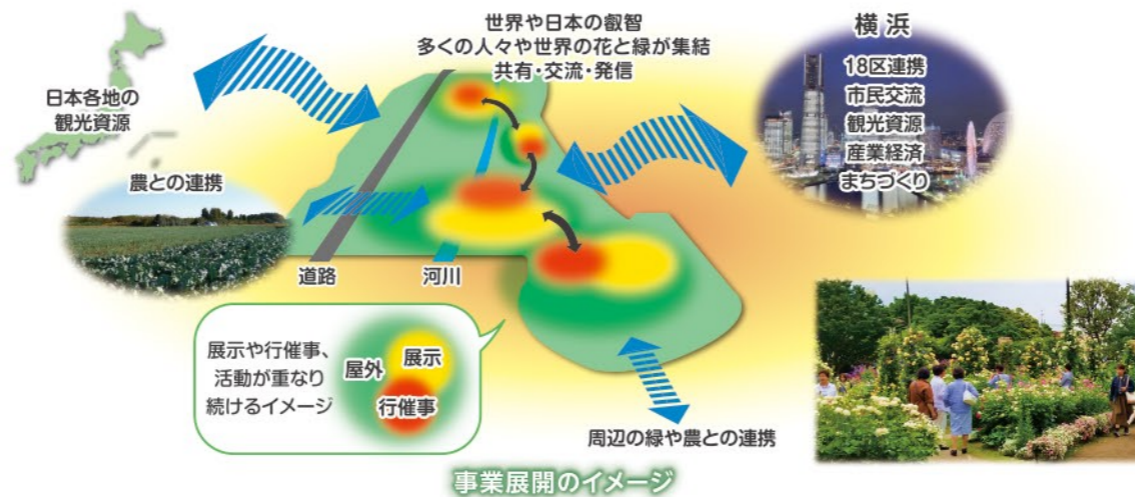
# Scenery of Happiness

～幸せを導く風景～

豊かさを深める社会への契機・深化に向けて

心の豊かさを深める感性や価値観の体系を「ハピネス」、そのハピネスを投影した時の移り変わり、人の賑わいなど、空間・時間・活動の総体を「風景」により表現し、花や緑はそのシンボルとなります。

## 展開の考え方



## 持続的な未来社会と博覧会を支えるグリーンインフラ

自然の持つ多様な機能を活用し、持続可能で魅力・活力ある地域づくりや心身の健康増進と、継続的な環境創造・負荷軽減を進めます。

## 会場構成

- 修景空間で包み込み、移動や待ち時間も充実して楽しめる会場構成
- 上瀬谷のもつ広がりを活かした会場演出や周辺の農や緑、活動との連携
- 季節感や朝夕の時間帯等を活かした新たな魅力の展開と来場者の平準化

## 事業コンセプト

市民・企業、地域・世界との連携を拡げ、時間軸の中で国際花博の効果を高める柱

普遍性 先進性	多様性 寛容性	シェア リンク
------------	------------	------------

## 事業コンテンツ

日本・横浜・上瀬谷の魅力・活力を、国際花博で象徴する要素



## 今後の進め方

皆様からいただいたご意見等を踏まえ、横浜市の基本構想案としてとりまとめ、開催主体である国に国際園芸博覧会の招致を要請していきます。

年度	想定される主な取組
2017	基本構想案の策定、国への正式要請
2018 2025	招致活動や国際関係機関との調整 会場計画・整備・参加国調整等
2026	国際園芸博覧会(横浜国際花博)の開催



出典:国際花と緑の博覧会公式記録

## 旧上瀬谷通信施設における 国際園芸博覧会基本構想(素案)へのご意見

- 旧上瀬谷通信施設への国際園芸博覧会招致を検討するうえで、重要だと思う項目を次から選んでください。(左側の□にチェック 複数選択可)

【基本理念・開催意義について】

- ①国際的な課題解決への貢献と未来への提案  
 ②博覧会を通じた地域のまちづくりや産業への波及

【展開の考え方、会場構成などについて】

- ③国内外の方々や多様な企業の参加と協働  
 ④交流や集客につながる展示や行催事  
 ⑤花・緑・農の持つ力と効果の発揮  
 ⑥横浜や上瀬谷の魅力の活用と発信

【宿泊・輸送計画について】

- ⑦市内の宿泊施設の活用や国内観光との連携  
 ⑧会場への移動を支える輸送手段

- ⑨その他(上記①～⑧以外)

- 選択した項目について具体的なお意見があればご記入ください。

キリトリ